

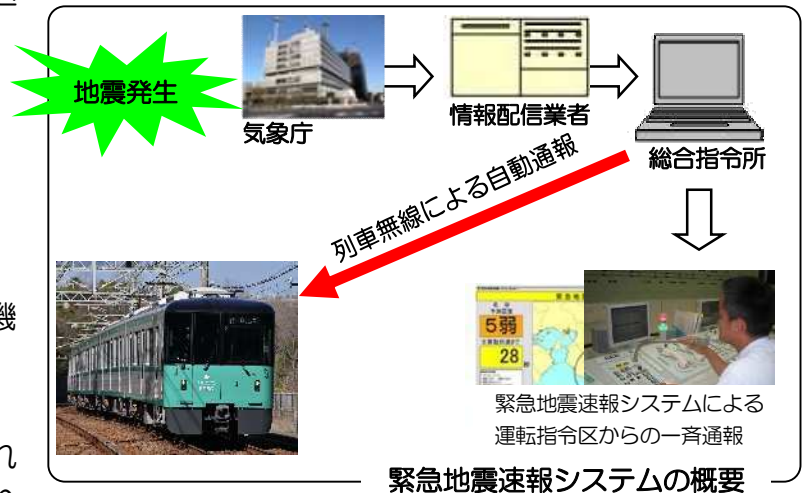
1.地震・津波発生時の対応

高速鉄道地震対策要綱や災害対策要綱、異常気象対策要綱に基づき、地震の発生や津波警報発令時における地下鉄の運行やお客様の避難誘導について定めております。

(1)地震発生時

緊急地震速報システムにより、震度4以上の地震予測速報が認められたときは、各列車の無線装置に地震予測速報が自動送信され、速やかに以下の対応を行います。

- ・ 走行中の列車は直ちに速度を25 km以下に減速し、次の駅まで走行
- ・ 駅出発中の列車は速やかに停止
- ・ 停車中の列車はそのまま駅で待機



(2)津波警報発令時

津波警報が発令され、浸水の恐れがある場合、運転指令の指示により全線または区間を定めて列車の運転の一時中止を行うとともに、駅構内への浸水防止対策として、止水板及び止水鉄扉（防潮扉）を設置します。



止水板



止水鉄扉

(3)お客様の避難誘導

地震・津波発生時は、運転指令の指示により、駅係員がお客様の避難誘導を迅速に行います。また、津波発生時の避難所案内については、浸水想定区域にある駅の各所に、「避難所案内用ピクトグラム」を掲出してあります。

2.津波警報発令訓練の実施

- (1)日 時 令和6年2月9日深夜
- (2)場 所 ハーバーランド駅～中央市場前駅～和田岬駅(西行線)
- (3)設 定 紀伊半島沖を震源とする南海トラフ地震が発生し、大津波警報が発令地震により架線が停電し、走行中の列車が駅間に停止した場合を想定
- (4)内 容 地震発生及び津波警報発令時の連絡体制と応援体制の確認
大容量蓄電池の取り扱い及び御崎発電機による全線への実負荷送電
和田岬駅の止水鉄扉の閉鎖
旅客の避難誘導及び防水扉の取り扱い
保守係員巡視点検時の避難体制の確認
想定時間内（津波到達30分前）に、お客様の誘導及び止水鉄扉の閉鎖を完了、係員の避難も確認

神戸市全体として、地域津波防災計画を策定しており、神戸市交通局としても関係部局と連携しながら、引き続き、地震・津波の災害に対応してまいります。